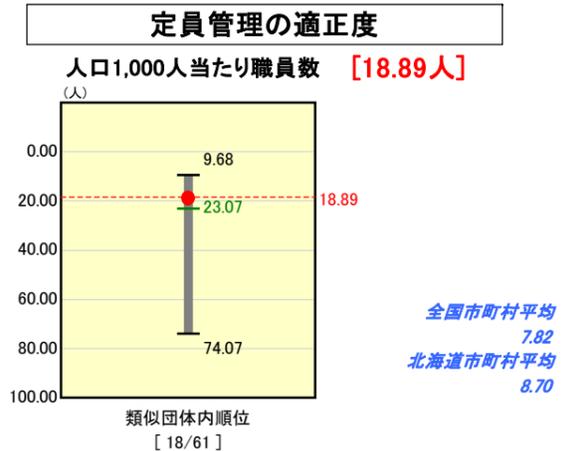
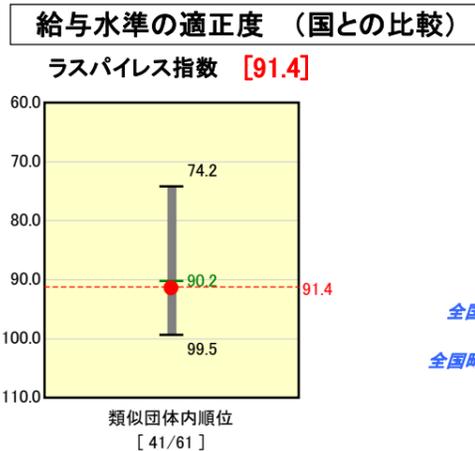
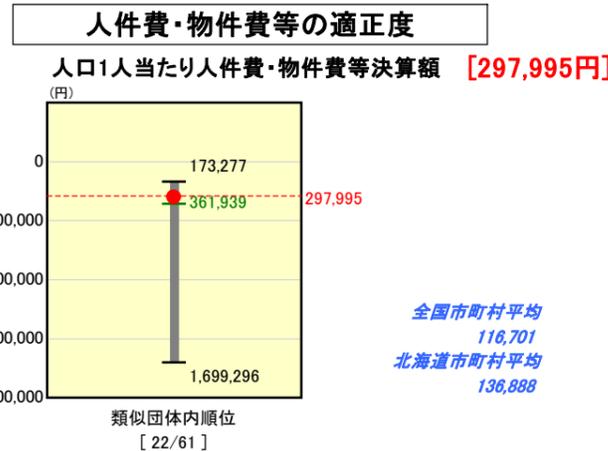
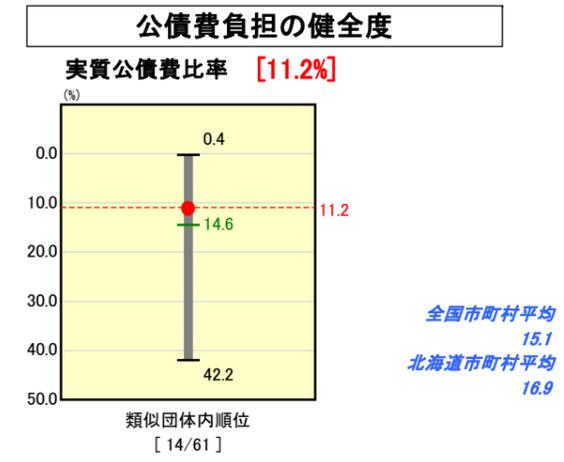
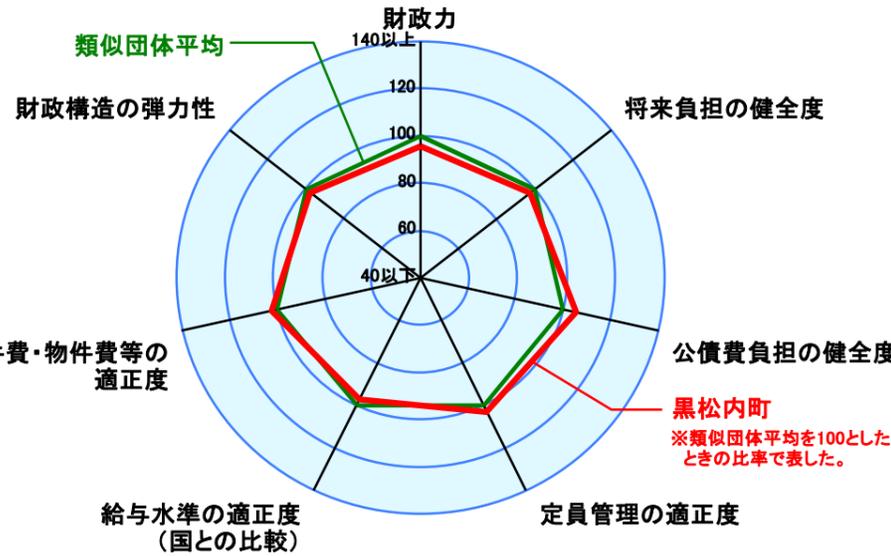
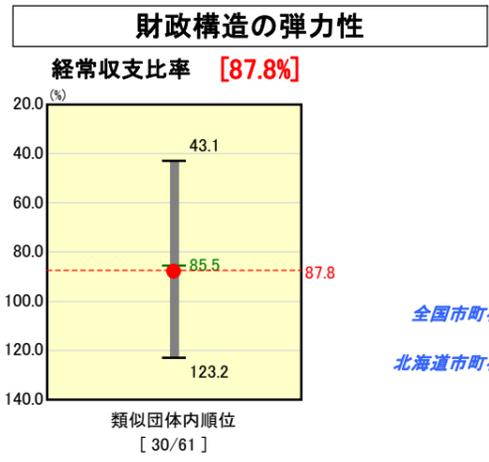
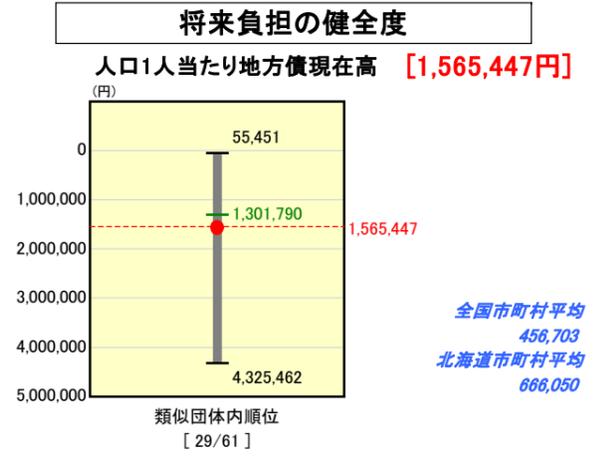
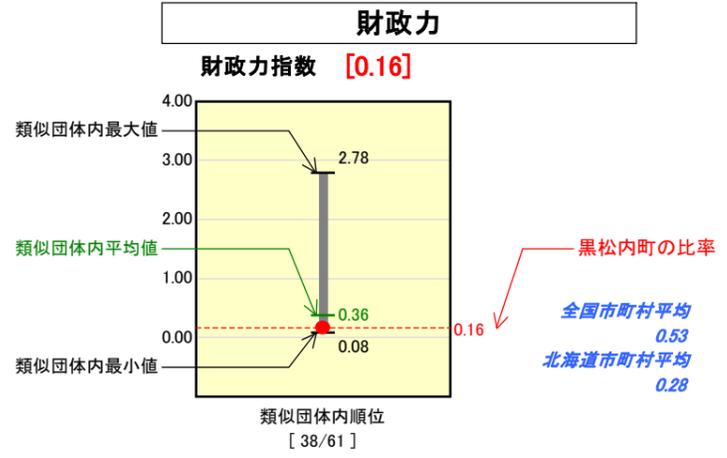


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 黒松内町

人口	3,335 人(H19.3.31現在)
面積	345.47 km ²
歳入総額	4,151,071 千円
歳出総額	4,042,781 千円
実質収支	108,256 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 長引く景気低迷による個人・法人税関係の減収などから0.16と類似団体平均を下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の抑制、事務事業の見直し等歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

経常収支比率: 補助費及び公債費の増加等により87.8%と類似団体平均を上回っている。補助費については、病院経営の健全化を図ることにより病院への繰出金の抑制を図るほか、地方債の新規発行の抑制に努める。また、集中改革プランに基づく退職者不補充による人件費の削減、各種補助金の削減等事務事業の見直しを実施することにより経常経費の削減を図り、類似団体平均以下の水準となるよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均と比較して、人口1人当たり人件費・物件費等決算額が低くなっている要因として、退職者不補充による人件費削減及びごみ収集業務や公共施設の管理等を民間委託で行っていることが挙げられる。今後も民間委託への委託可能な業務を検討し、一層のコスト抑制を図る必要がある。

ラスパイレス指数: 平成19年度から職員給料月額5%カットを実施したことから、前年度より指数が5.7下回ったが、類似団体平均を1.3上回っており、今後も給与の適正化を図り、類似団体平均の水準となるよう努める。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を上回っている。主な要因としては、平成15年度から実施している公営住宅建替事業の他、平成18年度実施した黒松内中学校改修による地方債の借入が増えたことが要因であるが、平成19年度以降新規地方債の発行額の抑制等により、類似団体平均の水準となるよう努める。

実質公債費比率: 黒松内町総合計画のもと、適量・適切な事業実施により、類似団体平均を下回る11.2%となっている。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業選択により、引き続き水準を抑える。

人口1,000人当たり職員数
退職者不補充により、類似団体平均より下回っている。今後においても、集中改革プランに沿って職員数を削減し、より適切な定員管理に努める。